

単元名 「注文しよう！誰かのためのオリジナルメニュー～What would you like?～」

本単元で育成する資質・能力 【コミュニケーション能力】【主体性】

本時のポイント

コミュニケーションの一つとして文字を扱い、目的意識をもって読んだり書いたりさせる授業

1 単元について

- 本単元は、友達とレストランの店員役と客役に分かれてお店屋さんごっこをして、誰かのために考えたオリジナルメニューを注文したり受けたりする活動をゴールに設定したものである。これらの活動を通して、場面や相手との関係によって言葉を使い分けてやり取りしようとする【主体性】の育成を図るとともに、“What would you like?” や “I’d like ~.” などの丁寧な表現を使って尋ねたり答えたりする【コミュニケーション能力】を高めることをねらいとしている。

本単元の内容は、新教材「We Can!1」の「Unit6 “I want to go to Italy.”」と関連があり、単元前半では、そこでの学習に加えて世界の名物料理や食生活などの情報を得ることができるので、外国語学習への意欲を高めることができる。単元後半では他教科と連動させ、誰かのためのオリジナルメニューを考えさせる際に、家庭科で五大栄養素を学習した知識を生かし、思考してメニューを考えさせることができる。文字指導においては、英語のメニューから情報を読み取り、注文した料理名を丁寧に書き写すなど、より実生活に近い活動を設定し、文字がコミュニケーションの一つであることを児童に実感させたい。

- 外国語についてのアンケートの結果、本学級の児童の実態は次の通りであった。

＜外国語活動についての意識調査（2月上旬実施）より＞

英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。	94%
英語を読む時には、単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	97%
英語を書く時には、単語の間を空けるなど、英語の書き方のきまりを守って書いています。	100%

本学級の児童は、外国語活動に対して意欲的で、すべての児童が進んで授業に参加していると回答している。「話すこと（やり取り）」に関する項目も94%と高く、「読むこと」「書くこと」に関する意識も高い。しかし、12月に実施したALTとのパフォーマンス課題では、やり取りの往復回数3回を達成した児童の割合は78%であり、文字に関しても個人差が大きく、4線以上に正確に書くことに課題がある。そのため、「話すこと」に加えて、「読むこと」「書くこと」においてもコミュニケーションの一つになるように工夫し、目的意識のある活動にしていく必要がある。

- 指導にあたっては、以下の点に留意する。

＜新教材（デジタル教材）や「Hi, friends! Plus」の活用＞

- ・本単元では、新教材「We Can!1」の「Unit8 “What would you like?”」を扱い、英語にも場面に応じた丁寧な表現があることを学習する。言葉は単に情報を伝えるだけではなく、場面や相手との関係によって使い分ける必要があり、“What would you like?” や “I’d like ~.” という表現を学習することで、やり取りの質を高めることができると思う。
- ・デジタル教材の活用では、映像を視聴させ、世界の国々への興味・関心を喚起する。また、単元を通してシングルを取り入れ、文字の読み方には、名称と音があることを意識付ける。

＜主体的な学びにつながる課題発見・解決学習＞

- ・第1時では、映像資料を視聴して、世界には様々な食べ物や食生活があることに気付かせることで、本単元に対する興味・関心を高める。また、レストランという場面での適切な言葉の使い方に気付かせることで、単元のゴール（レストランごっこ）のイメージをもたせるとともに意欲を高める。
- ・第5時では、Small Talk や映像資料から、ALTのためにオリジナルメニューを考えて友達と伝え合わせたり、メニューを書いたワークシートをALTに渡して紹介させたりする。第6・7時では、より身近な存在である友達や家族のためのオリジナルメニューを考えさせることで、その人に合うメニューを注文して紹介したいという意欲を高める。

2 目標

- 他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたりしようとする。【関心・意欲・態度】
- 注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞き、具体的な情報を聞き取る。【慣れ親しみ（聞く）】
- 丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合う。【慣れ親しみ（話す）】
- 簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり書き写したりする。【慣れ親しみ（読む・書く）】
- 丁寧な表現や世界の名物料理に気付く。【気付き】

3 評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ			言語や文化に 関する気付き
	聞く	話す	読む・書く	
○誰かのためにその人に合うメニューを考えて、丁寧に注文を尋ねたり答えたりしようとしている。	○注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞き、具体的な情報を聞き取っている。	○“What would you like?”や“I'd like ~.”の表現を使って、丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合っている。	○飲食物などについて、簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり書き写したりしている。	○英語でも場に合った丁寧な表現があることに気付いている。 ○食べ物や食生活を通して、世界には様々な人が様々な生活をしていることに気付いている。

4 単元のゴール（やり取りのイメージ）

店員役と客役に分かれて、相手に丁寧に注文を尋ねたり答えたりする場面

①

Hello.
What would you like?

②

I'd like fried chicken.

③

Fried chicken?
OK.

④

Thank you.
How much?

⑤


400 yen, please.

⑥


OK, here you are.

⑦

Thank you.



店員



客

5 言語材料（下線は新出）

主な表現	主な語句
① <u>What would you like?</u>	飲食物 (curry and rice, French fries, fried chicken, grilled fish, radish, broccoli, mineral water, parfait, bread, drink, soda pop, green tea, beefsteak, rice, yogurt), 家族 (father, mother, sister, brother, grandfather, grandmother), busy, enjoy, would, special, healthy, menu, meal, restaurant, dessert, main, side, 数 (seventy, eighty, ninety, hundred), vest, wolf 果物・野菜, 飲食物, 状態・気持ち, 数 (1~60)
② <u>I'd like (spaghetti).</u>	
③ <u>How much?</u>	
④ <u>It's (970 yen).</u>	
⑤ <u>It's for (my brother).</u>	
⑥ <u>This is for (my brother).</u>	
⑦ Here you are.	

6 単元計画（全8時間 本時7／8）

時	目標（◆），主な活動（○），他教科や行事等との関連（※） その時間で目指す児童の発話例（□）	評価の観点				
		関 意 態	慣れ親しみ			気
	聞		話	読書		
1	【課題の設定】【情報の収集】①② ◆家族の呼称や，丁寧に注文を尋ねたり答えたりする表現が分かる。 ◆誰かのためのオリジナルメニューを考えて，友達とお店さんごっこをして注文するという課題意識をもつ。 ☆Small Talk (ALTの好きな食べ物) OP58~59「Let's Watch and Think1」 世界の様々な名物料理に関する映像資料を視聴し，世界には様々な食生活があることを知る。 OP60「Let's Watch and Think2」 登場人物が料理を注文する場面を見て，食べ物や家族の言い方について知る。 OP59「Jingle」 Foods Jingle ○ポインティング・ゲーム (食べ物) OP61「Let's Listen1」 登場人物の両親が何を選んだかを聞き取り，人物と食べ物を線で結ぶ。		◎			○
2	【情報の収集】①② ◆丁寧に注文を尋ねたり答えたりする。 ☆Small Talk (好きな食べ物) OP59「Jingle」 Foods Jingle OP58~59「Let's Watch and Think1」 世界の様々な名物料理に関する映像資料を視聴し，世界には様々な食生活があることを知る。 ○レストランで注文しよう 指導者の質問に対して，欲しいものを言う。 ○注文しよう ペアで欲しいものを尋ねたり答えたりする。 OP60「Let's Listen2」 登場人物の祖母が注文したものを聞き取り，Main dish, Side dish, Dessertのそれぞれの枠に記入する。 ○Sounds and Letters① (p) □ S1 : What would you like? S2 : I'd like fried chicken, an omelet and fruit.		◎			○
3	【情報の収集】③④ ◆値段を尋ねたり答えたりする。 OP59「Jingle」 Foods Jingle OP58~59「Let's Watch and Think1」 世界の様々な名物料理に関する映像資料を視聴し，世界には様々な食生活があることを知る。 OP60「Let's Listen2」 登場人物の祖母が注文したものを聞き取り，値段を枠内に記入する。 ○Buzz Game 1~3つの連続した数字を言い，Buzz Number を言った人が負ける。 ○注文しよう ペアになり，注文や値段を尋ねたり，それに答えたりする。 ○Sounds and Letters② (s) □ S1 : How much? S2 : 970 yen, please. S1 : OK, here you are. S2 : Thank you.		◎			○
4	【情報の収集】①~④ ◆丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする。 ☆Small Talk (飲みたい物) OP59「Jingle」 Foods Jingle OP61「Let's Listen3」 登場人物の祖父が注文したものとその値段を聞き取り，記入する。 ○Buzz Game 1~3つの連続した数字を言い，Buzz Number を言った人が負ける。 ○ペアで注文し合おう ペアになり，注文や値段を尋ねたり，それに答えたりする。 ○Sounds and Letters③ (b) □ S1 : What would you like? S2 : I'd like fried chicken. How much? S1 : 400 yen, please. S2 : OK, here you are.		◎	○		

	<p>【情報の収集】①～⑦</p> <p>◆丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりする。</p> <p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、書き写す。</p>		◎		○	
5	<p>☆Small Talk (ALTの体調とお勧めのメニュー)</p> <p>OP59「Jingle」 Foods Jingle</p> <p>○先生の作ったメニューセットを知ろう</p> <p>OP62「Let's Listen4」 誰のためにどんなメニューを考えたのかを聞き取り、線で結ぶ。</p> <p>○「Let's Read and Write」① ALTのためにお勧めメニューを考え、P64～65のMenuやP84のWORD LISTを見ながら書く。</p> <p>書く例：I'd like (fried chicken) .</p>					
	<p>S1 : Hello. What would you like? S2 : I'd like fried chicken.</p> <p>S1 : Fried chicken? OK. S2 : Thank you. How much?</p> <p>S1 : 400 yen, please. S2 : OK, here you are.</p> <p>S1 : Thank you.</p>					
	<p>チャレンジタイムで、体調の言い方を確認する。</p>					
	<p>チャレンジタイムで、店ごとに集まり、メニューの値段を考えたり、客と店員に分かれて注文したりする。</p>					
	<p>【整理・分析】①～⑦</p> <p>◆他者に配慮しながら、丁寧に注文したり受けたりしようとする。</p>		○	◎		
6	<p>☆Small Talk (好きな給食のメニュー)</p> <p>OP59「Jingle」 Foods Jingle</p> <p>OP62「Let's Listen5」 Let's Listen4 のメニューを再度聞き、その値段を聞き取って記入する。</p> <p>OP64「Activity」 グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。</p> <p>OP63「STORY TIME」 絵本の読み聞かせを聞いたり、読んだりする。</p>					
	<p>S1 : Hello. What would you like? S2 : I'd like fried chicken.</p> <p>S1 : Fried chicken? OK. S2 : Thank you. How much?</p> <p>S1 : 400 yen, please. S2 : OK, here you are.</p> <p>S1 : Thank you.</p>					
	<p>チャレンジタイムで、ジングルとワードサーチ(隠された食べ物の名前を探す)を行う。</p>					
	<p>【まとめ・創造・表現】①～⑦</p> <p>◆他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりしようとする。</p> <p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測して読み、書き写す。</p>			○	◎	
7	<p>☆Small Talk (ALTの体調とお勧めのメニュー)</p> <p>OP64「Activity」 グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。</p> <p>○「Let's Read and Write」② 英語のメニューを見て、情報を読み取り、注文した料理(メインディッシュ、サイドディッシュ、デザート、ドリンク)の単語を選択して書く。書いた物を読んで友達に感想を伝える。</p> <p>書く例：It's for (友達の名前) . I'd like (fried chicken) .</p>					
	<p>S1 : Hello. What would you like? S2 : I'd like fried chicken.</p> <p>S1 : Fried chicken? OK. S2 : Thank you. How much?</p> <p>S1 : 400 yen, please. S2 : OK, here you are.</p> <p>S1 : Thank you.</p>					
	<p>チャレンジタイムで、家族の誰のためのセットにするか決め、P64～65のMenuやP84のWORD LISTを見ながら書く。</p>					
	<p>【実行・振り返り】①～⑦</p> <p>◆他者に配慮しながら、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。</p>		◎		○	
8	<p>OP59「Jingle」 Foods Jingle</p> <p>OP64「Activity」 グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。</p> <p>○自分の考えたスペシャルメニューについて発表する。</p>					
	<p>S1 : Hello. This is the healthy meal. Grilled fish, miso soup, fruits, rice, green tea and salad...; it's for my mother. She is busy. She is tired.</p> <p>S2 : Nice. I like grilled fish. It's delicious.</p> <p>S3 : Me, too. I like grilled fish.</p> <p>S1 : Thank you.</p>					

7 本時の展開

(1) 本時の目標

◎丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりする。

【慣れ親しみ（話す）】

○音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測して読み、書き写す。

【慣れ親しみ（読む・書く）】

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点 (○)・評価 (※)	
	パワーアップリーダー (T1)	ALT (T2)
1 Greetings	○英語で挨拶を行うとともに、既習の表現を使って児童とやり取りする。	○英語で挨拶を行い、外国語の始まりの雰囲気をつくる。
<p>T1 : I'm full. I enjoyed school lunch. T2 : What food do you like? T1 : I like miso soup. In my miso soup, I have onion, carrot and Japanese radish. I like onion. Do you like onion?</p>		
2 Activities		
① Small talk I	○児童を会話に巻き込みながら話し、本時のめあてにつなげる。	○T1と給食について話し、食べ物への興味・関心を高める。
<p>T1 : Erik sensei, how are you? T2 : I'm cold. I want to drink something hot. T1 : Erik sensei, you like coffee. Curry and rice, corn soup, cake and coffee. This is for Erik sensei. T2 : Oh, nice! Thank you. T1 : This is "Poka Poka" meal.</p>		
② Today's goal	友達のためにオリジナルメニューを考えてプレゼントしよう。	
③ Small talk II	○使えそうな既習表現を確認し、友達と体調や好きな物を伝え合わせる。その情報をもとに、注文したい食べ物を考えさせる。	○体調の言い方を確認する。
④ Activity I	<p>【P64「Activity」 誰かのためのオリジナルメニューを注文しよう】</p> <p>① 客役の児童はメニュー表を見て、欲しいものを注文する。 ② 店員役の児童は、注文された食べ物のカード（イラストと文字のあるカード）を客役の児童に渡す。 ③ やり取りが終わったら時計回りに移動する。それぞれのお店でやり取りして食べ物カードを集め、メニューを完成させる。</p>	
<p>S1 : Hello. What would you like? S2 : I'd like fried chicken. S1 : Fried chicken? OK. S2 : Thank you. How much? S1 : 400 yen, please. S2 : OK, here you are. S1 : Thank you.</p>		
	○活動の場を設定し、前半の役割（店員（メイン・サイド・デザート・ド	○T1とデモンストレーションを行い、目指すべき姿を共有する。

<p>⑤ Activity II</p> <p>3 Feedback</p>	<p>リンク)と客)を確認する。 ○中間評価をし、よいコミュニケーションについて具体的に共通理解させ、後半の活動を行う。 ※丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりしている。【慣れ親しみ(話す)】(行動観察・振り返りシート)</p> <p>○指導者が意図的に間違えた語句を提示し、書くときのポイントを確認する。 ○ペアでワークシートを交換して読ませ、友達が注文してくれたメニューを推測しながら読ませる。 ○児童が書いた文字を通して、児童とコミュニケーションを図る。 ※簡単な語句や基本的な表現を読んだり書いたりしている。【慣れ親しみ(読む・書く)】(行動観察・振り返りシート)</p> <p>○本時のねらいが達成できたか自己評価させ、達成感をもたせる。</p>	<p>○机間指導を行い、発話に困っている児童がいたら支援する。 ※丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりしている。【慣れ親しみ(話す)】(行動観察・振り返りシート)</p> <p>○T1の書いた文字から、児童に書くときのポイントを確認する。 ○机間指導をして、児童が書いた内容を受け止めながら、“Do you like curry and rice? Nice!” などと言って、児童とコミュニケーションを取る。 ※簡単な語句や基本的な表現を読んだり書いたりしている。【慣れ親しみ(読む・書く)】(行動観察・振り返りシート)</p> <p>○簡単な英語で児童の頑張り进行评估する。</p>
<p>振り返り：丁寧な表現を使って、注文したり受けたりすることができた。 友達が考えてくれたメニューを読んで食べてみたくなった。</p>		
<p>4 Greetings</p>	<p>○お互いの頑張り認め合うとともに、感謝の気持ちを表現させる。</p>	<p>○英語で挨拶をする。</p>


8 板書計画

2/15 注文しよう！誰かのためのオリジナルメニュー～What would you like?～

Today's goal 友達のためにオリジナルメニューを考えてプレゼントしよう。

What would you like ?

I'd like 絵カード

How much? 

Poka Poka meal

Main Dish	Side Dish
絵カード	絵カード
Drink	Dessert
絵カード	絵カード

It's for Erik.

I'd like curry and rice.

omulet
↓
omelet

ローマ字とのちがいに気を付ける。

語と語の間に1文字分スペースをとる。